

合同記者会見：富士通(株)/NCC/NCVC/NCGG/TMDU

認知症の 早期発見システムの開発

Development of early detection system of dementia

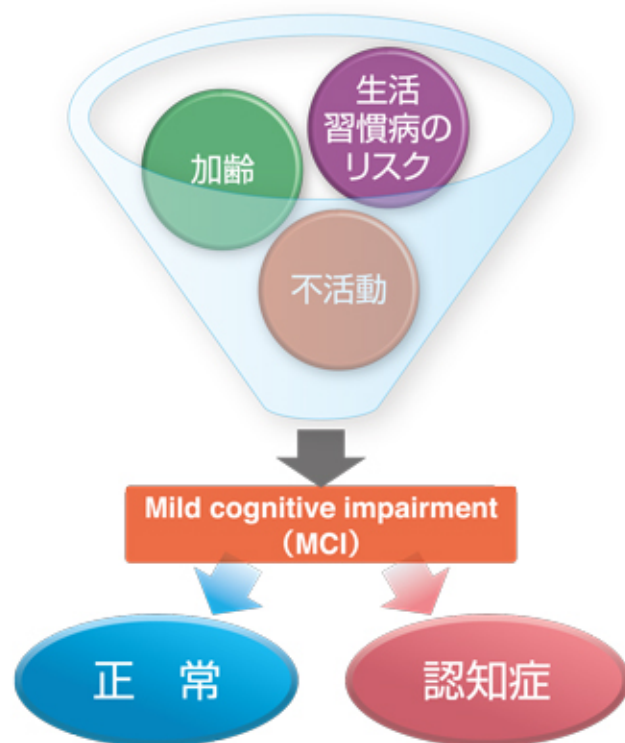


独立行政法人
国立長寿医療研究センター

鳥羽 研二

Significance of finding the risk of dementia

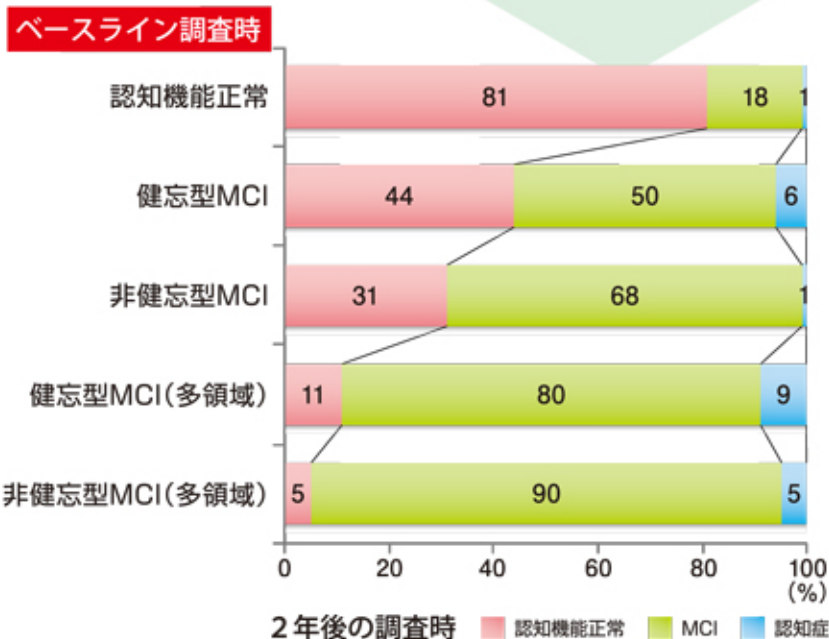
認知症の危険性を早期に発見する意義



高齢者の20%がMCIと推定

2年間の追跡調査による認知症移行率の違い (n=437)

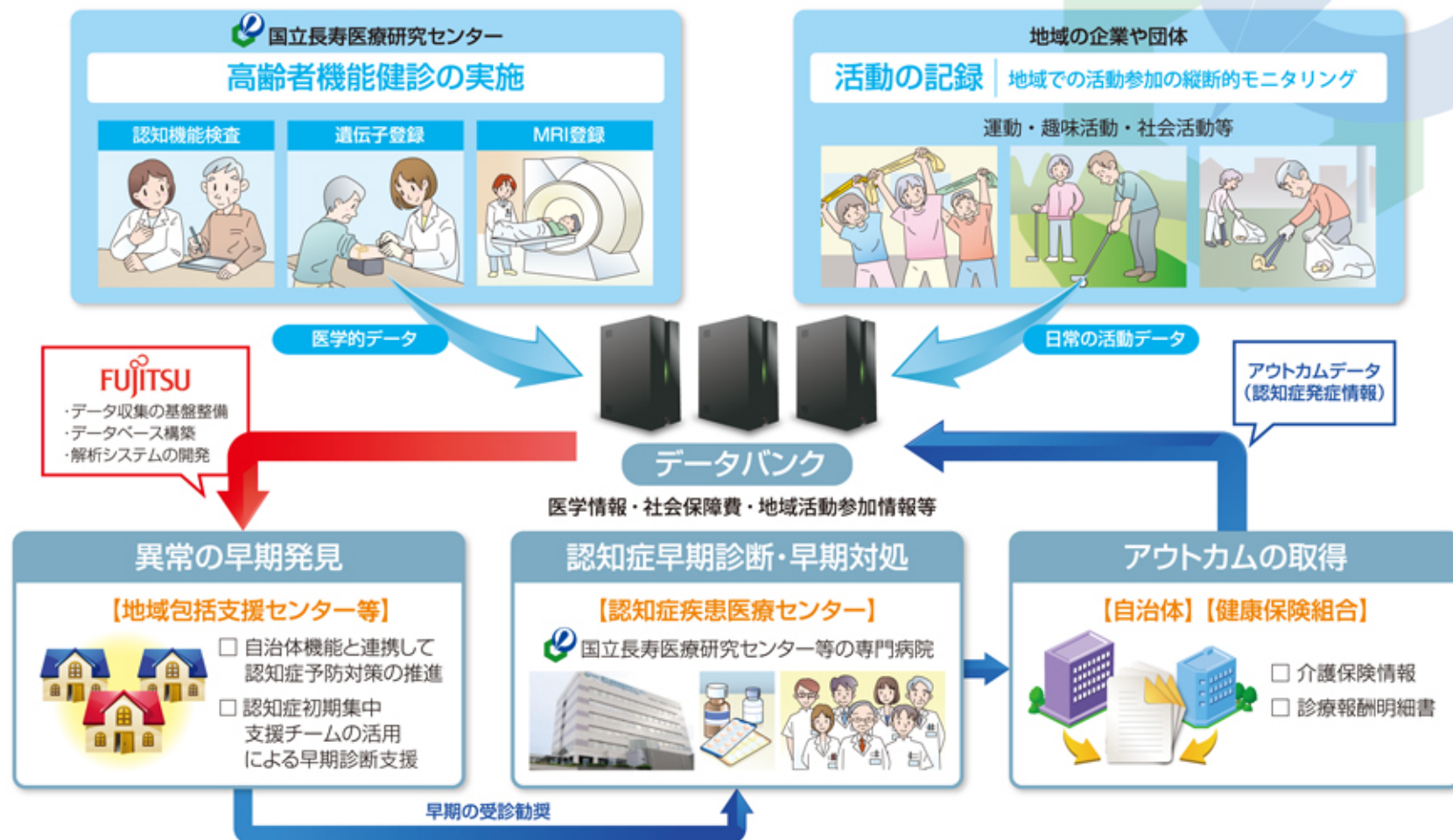
The Sydney Memory and Ageing Study
対象者70～90歳の高齢者(2年間の追跡調査)



System development

認知症の早期発見システムの開発

独立行政法人国立長寿医療研究センター
富士通株式会社 共同研究



Time schedule

タイムスケジュール

認知症の早期診断システム構築

平成
27年度

- ☐ 医学的情報の取得(8,000名)
- ☐ データ管理サーバーの設置

平成
28年度

- ☐ 日常活動情報の取得
- ☐ サーバーの運営とデータのまとめ
- ☐ 認知症の兆候発見システムの構築(試用開始)

平成
29年度

- ☐ 医学的情報の取得(5,000名)
- ☐ 日常活動情報の取得
- ☐ システムの予測能力の検証

平成
30年度

- ☐ システムの再構築
- ☐ 認知症の兆候発見システムの完成(運用開始)

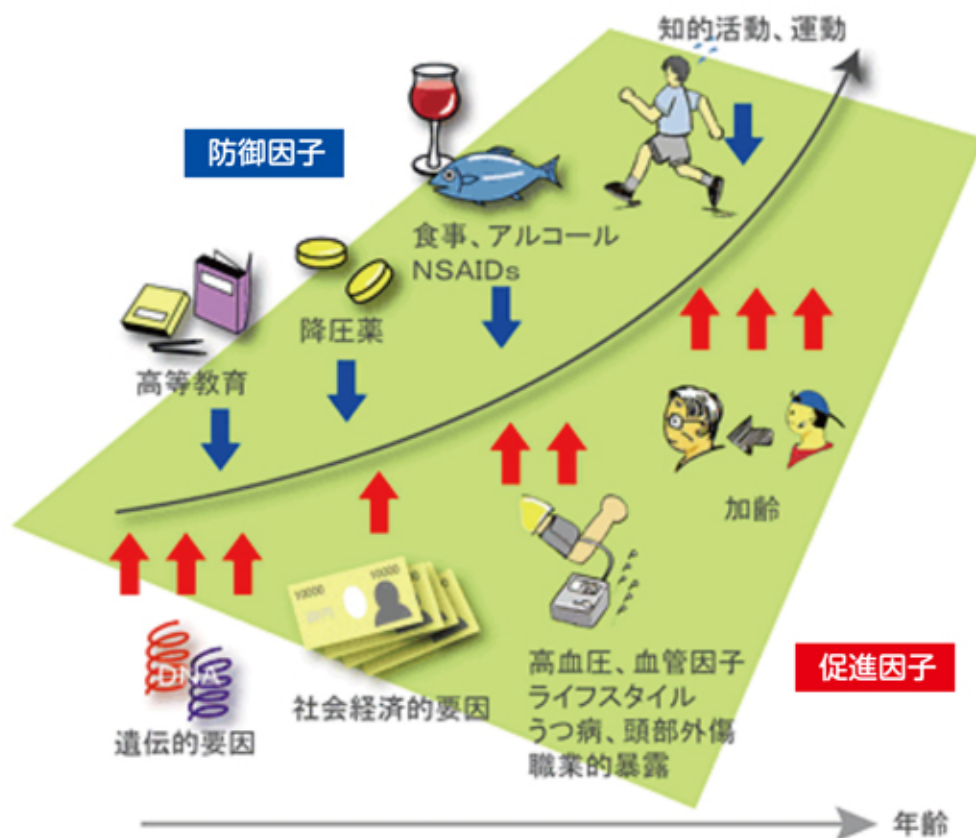
平成
31年度

- ☐ 全国での運用開始・運用支援

付録

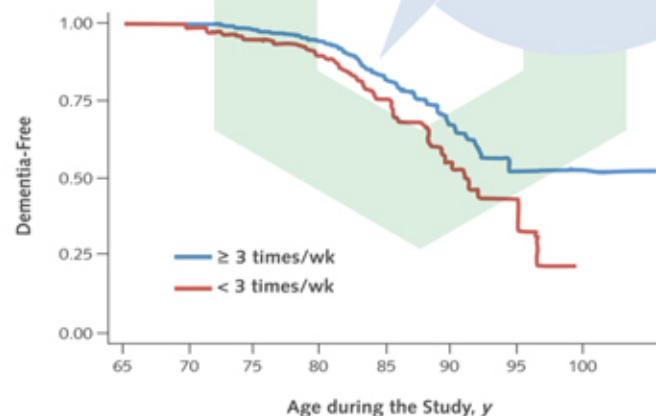
Risk and protective factors

認知症の促進因子と防御因子



厚生労働省HPより

例)運動習慣と認知症発症



週3回以上の運動習慣を持つ人は
それ未満の人に比べて認知症発症の相対危険度は
0.62 (95% CI, 0.44 to 0.86)であった

Larson EB, Ann Intern Med 2006.